

岡山救急医療研究会第 19 回学術集会
プログラム・講演抄録集

会 期：平成 29 年 11 月 18 日（土曜日）

会 場：倉敷中央病院 大原記念ホール
（岡山県倉敷市美和 1-1-1）

会 長：池上 徹則
（倉敷中央病院救急科 主任部長）

岡山救急医療研究会第 19 回学術集会開催にあたって

岡山救急医療研究会第 19 回学術集会

会長 池上 徹則

(倉敷中央病院救急科 主任部長)

昨年 9 月に岡山県の新救急医療情報システムが運用開始し 1 年が経過しました。同システムは約 2 年間の準備期間を経て現在に至っているわけですが、システムをより良いものにする為の試行錯誤は現在も続いています。

それを受けまして本日のパネルディスカッションでは「導入から 1 年: ICT を用いた救急医療情報システムを検証する」と題し、消防、医療機関そして行政の方々にご登壇いただき、それぞれのお立場から現在の救急医療情報システムの課題と今後の展望につきご発表いただきます。また特別講演では消防庁の緊急度判定プロトコル作成ワーキンググループの座長を務められた森村尚登先生に「救急医療の質の管理: 地域住民を中心に置いた院内外データ連結の必要不可欠性」のタイトルで、病院前診療と病院内診療の関係性、その連携のあり方についてご講演をいただきます。

ICT を用いた救急医療情報システムは、当地域における救急医療の発展に大きく寄与する可能性を秘めていますが、残念ながらその潜在的な機能が十分に使いこなされているとは言い難い状況にあります。今後少しでも新システムの有用性の認識が深まり、当地域全体が同一の方向性を持って病院前と医療機関との情報連携を進め、医療の質の改善に寄与することは私たち救急医療に携わる者に課せられた責務とも言えます。その為には職種を超えてお互いに腹藏なく意見が言える関係の構築が不可欠であり、本日のこの会が少しなりともその契機になればと祈念しております。

最後になりましたが、この度の学術集会を開催するに当たり多くの関係各位のご協力を頂きましたこと、感謝申し上げます。

会場案内

学術集会会場：倉敷中央病院 大原記念ホール(外来棟3階)

〒710-8602 倉敷市美和 1-1-1 TEL：086-422-0210(代表)

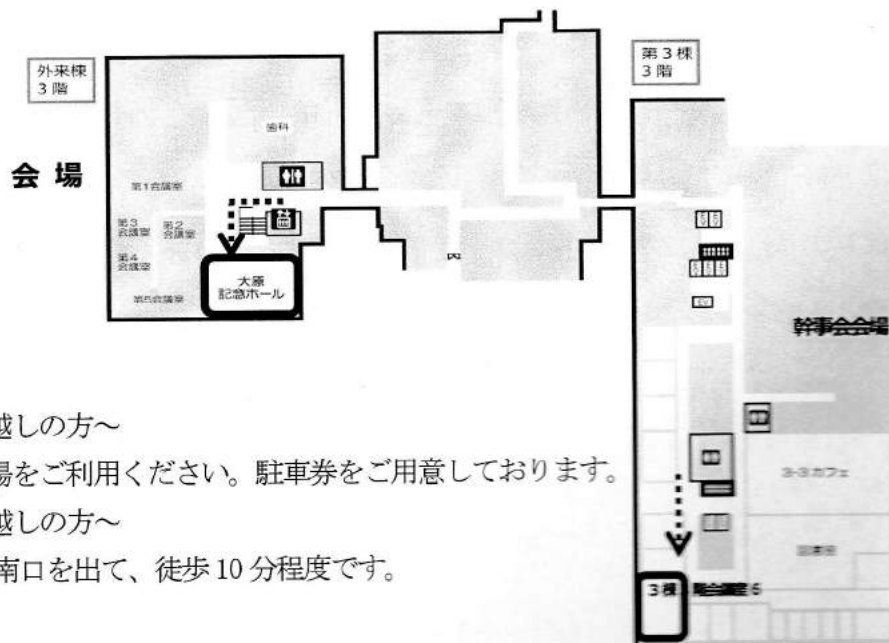
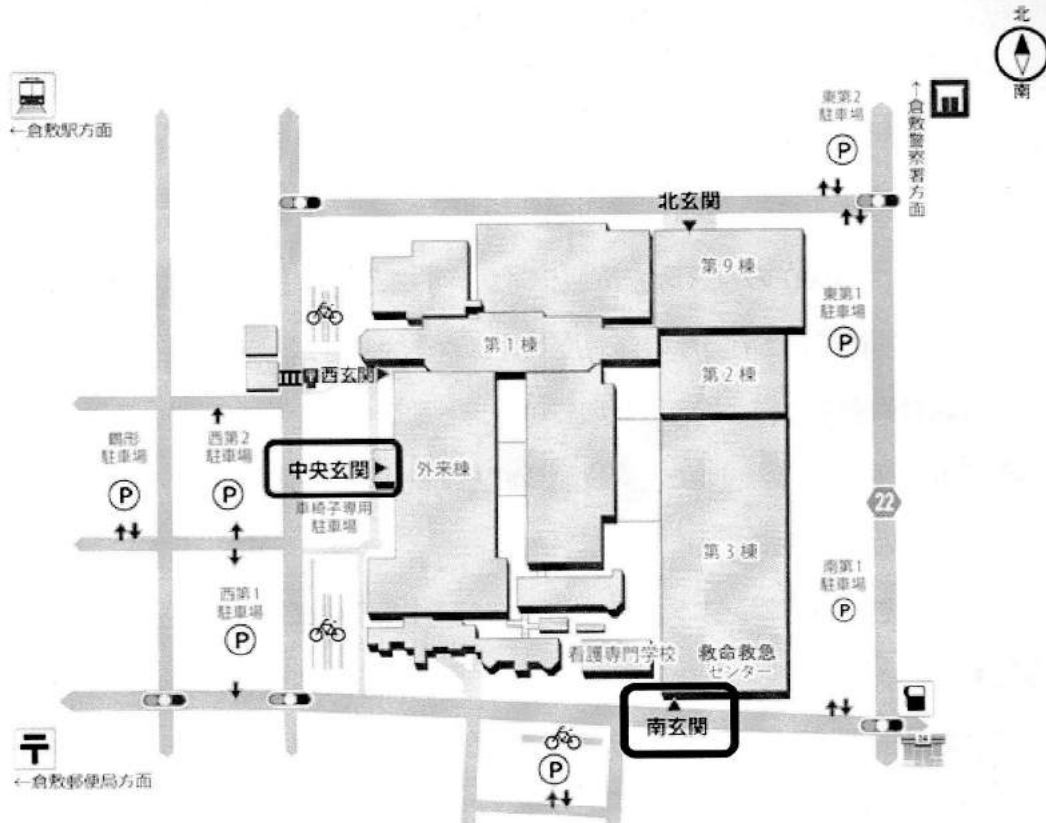
受付：大原記念ホール前

※会場へは中央玄関ホールにありますエレベーターで3階へお上がりください。

幹事会会場：倉敷中央病院 3棟3階会議室6

受付：幹事会会場前

※南玄関から入り3棟エレベーターで3階へお上がりください。



～お車でお越しの方～

病院駐車場をご利用ください。駐車券をご用意しております。

～電車でお越しの方～

JR 倉敷駅南口を出て、徒歩10分程度です。

ご案内

1. 参加者の方へ

1) 参加受付

受付時間： 11月18日(土) 12:30~16:00

受付場所： 大原記念ホール前

参加費： 会員 無料 / 非会員 1,000円 / 学生 無料

受付にて参加費をお支払いの上、参加証(ネームカード)をお受け取りください。当日は学術集会参加受付カウンターに併設して、岡山救急医療研究会の事務局受付が設置されます。研究会への入会を希望される方、及び会員で年会費をお支払いになる方はそちらにお越し下さい。

年会費 2,000円 *当日入会の方も本会の参加費は無料となります。

※幹事の方は、幹事受付と併せて参加受付も幹事会会場前で行いますので、3棟3階会議室6に直接お越しください。

2) 会員の方へ

参加された会員の方は、事務局受付にて年会費の支払いをお願いします。

当日不参加の方で会費のお振込みがまだの方は、送付しております会費振込用紙にてお振込みをお願いします。

3) 抄録集

会員の方、発表者の方へ事前に郵送いたします。必ずご持参ください。

4) 会場内の飲食

会場内飲食可能です。

2. 演者の方へ

1) 口演時間

一般演題 発表5分 質疑応答 2分

パネルディスカッション 発表10分

2) プレゼンテーションについて

PowerPointによるコンピュータープレゼンテーションです。

(学術集会事務局で発表用のWindows PC(Windows7)を用意いたします。)

3) 受付について

スライドの試写確認を行いますので、口演予定時間の30分前までに受付にお越しください。

発表データはUSBメモリーかCD-Rにてご持参ください。

演者は5分前までに次演者席にご着席ください。

3. 座長の先生へ

1) 各セッションの進行は座長にお任せいたします。プログラムの進行遅延がないようにご留意をお願い申し上げます。

2) 次のセッションの座長の先生はセッション5分前までに次座長席にご着席下さい。

4. 参加ポイントのご案内

1) 本会は日本救急撮影技師認定機構の認定学術集会です。

2) 本会は岡山県医師会生涯教育講座の認定学術集会です。(5単位)

プログラム

12:30	受付開始
13:00～13:05	開会式
13:05～13:15	総会
13:15～14:20	一般演題
14:30～16:00	パネルディスカッション
16:10～17:10	特別講演
17:10～	閉会式

■一般演題

一般演題Ⅰ（発表5分、質疑応答2分） 13:15～14:20

座長 桐山 英樹（岡山市立市民病院）

1. 指導救命士による救急講習会について
岸 誠司（倉敷市消防局）
2. 救急ICUでの敗血症患者の離床状況と退院時ADLの検討
沖 圭祐（倉敷中央病院 リハビリテーション部）
3. 当院ICUで行った気管切開の長期的な気管カニューレ抜去率の検討
野村 智子（倉敷中央病院 リハビリテーション部）
4. 救急医療連携における前方支援病院としてのリハビリテーションの取り組み
松森 淳（岡山西大寺病院）
5. 重症外傷患者の転院後訪問より見えてくる課題
曾我 比呂子（倉敷中央病院 医療福祉相談室）
6. 小児終末期医療における施設間の調整を行った一例
篠崎 恵梨香（岡山大学病院 高度救命救急センターEICU）
7. 御津医師会と救急医で取り組んだ動画による高齢者事前意思表示啓発の取り組み
稲葉 基高（岡山済生会総合病院 救急科）

一般演題Ⅱ

13:15～14:20

座長 椎野 泰和 (川崎医科大学附属病院)

1. ECMO の装着と搬送における施設間の連携と今後の課題
川田 将弘 (岡山大学病院 高度救命救急センターEICU)
2. マムシ咬傷による横紋筋融解症, 急性腎不全に対して血液透析療法の導入が必要となった一例
上畑 恭平 (倉敷中央病院 医師教育研修部)
3. 腰動脈損傷を伴う多発脊椎骨折の 3 例
古谷 奈緒 (岡山大学病院 卒後臨床研修センター)
4. FOLFOX 療法に起因した高アンモニア血症により意識障害をきたした一例
山本 浩継 (岡山大学病院 高度救命救急センター)
5. 心室細動により低カリウム血症が引き起こされたと推測される 1 例
沢田 孝平 (岡山大学病院 卒後臨床研修センター)
6. けいれんで救急搬送された小児例の検討
村尾 麻衣 (倉敷中央病院 小児科)

■パネルディスカッション 14:30～16:00

司会 中田 正樹 (倉敷市消防局)、福岡 敏雄 (倉敷中央病院)

パネリスト

1. 地域の消防から見た救急医療情報システムの現状と問題点
古城 佳宏 (井原地区消防組合)
2. 岡山市消防局の岡山県救急医療情報システム活用効果と課題について
摺河 祐司 (岡山市消防局救急課)
3. おかやま救急医療情報システムで Win-Win! ～岡山医療センターでの現状と問題点～
宮地 克維 (独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 救急科)
4. 3 次医療機関からみた救急医療情報システムの現状と問題点
實金 健 (岡山赤十字病院 救急部)

5. 岡山県救急医療情報システムの現状と問題点～備中地区 MC の活動を通して
見た問題点と展望～

山本 篤史 (倉敷中央病院 救急科)

6. 救急医療情報システムの利用状況及び今後の方向性について

藤井 淳 (岡山県保健福祉部医療推進課 主事)

■特別講演 16:10～17:10

座長 池上 徹則 (倉敷中央病院)

「救急医療の質の管理：地域住民を中心に置いた院内外データ連結の必要不可欠性」

森村 尚登

(東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻生体管理医学講座 救急科学分野 教授)